

## 平成 26 年度事業報告

平成 17 年度からの長期 10 ヶ年計画の 9 年目を迎えた 26 年度事業計画の特徴は、22～23 年度に「求められる作業療法」を目指して耕し始めた土壌に、24～25 年度にかけて「地域作業療法推進」として区画を整理したうえで種を蒔いてきた各事業を基に、26 年度からの日本作業療法士協会のパイロット事業を加えて、より効率的かつ効果的な事業を計画し、次の時代に向けて「人を育て遺してゆく」ことを掲げた。

10 年計画の 4 本柱を以下の通り計画し執行したので報告する。

### ①組織強化

会員データベースの一元管理に向けて JACCS カード導入し、平成 27 年 3 月一杯にて旧システムを終了するに付き、様々な部署で移行を推進・努力してきたが、会員の理解と協力が進捗せず、もう一年間限定で期間延長となった。

各部署では、事業部やそれらを有効化するために渉外や広報部を増強し、あわせて企画調整委員会から特設委員会として地域作業療法推進委員会を増強した。各支部では、4 地域化にともなう各支部間、支部内の活性化にあわせ増強を行い、協会のパイロット事業費や、地域作業療法推進委員会の有効活用により、支部予算以上の効果を得た。

### ②質の向上

教育部や支部の協力のもと、研修・講習会を従来の平屋建て方式からマンション建て方式、すなわち同一時刻に複数の科目を開催できるようにした。同時に、三階建て「地階；地域系（閉鎖）、一階；MTDLP 系（一般開放）、二階；OJT 系（パイロット事業）」を 4 地域にて開催した。

### ③職域拡大

日本作業療法士協会のパイロット事業もあり、各自治体への挨拶、啓発資料作成などを執行し、各自治体で地域のケア会議や地域支援事業などに参画し、特別支援教育や就労支援、認知症支援などを含めた地域法包括ケアシステムに向けた事業を推進できた。

### ④社会貢献

各市町村担当を配置し、各地域ケア会議、包括支援センター業務などを、地域作業療法・パイロット事業とともに展開し、後半からは北海道リハビリテーション 3 団体連絡協議会として、北海道、各自治体にアプローチすることができている。

### ⑤道士会外務

協会と協定書を締結し、効率的かつ効果的な運営（会員データの共有など）を図っている。パイロット事業の成果を 49 回神戸学会にて報告し、平成 27 年度もパイロット事業として 107 万円の助成を受けた。

併せて、災害対策として関連団体と連携して Do-RAT、協会組織として JRAT やナショナル・レジリエンス推進協議会として活動し、成果を上げてきた。

## 【事務局】

[総務部]

### 1. 会議運営

- ・ 定期総会：平成 26 年 6 月 7 日開催
- ・ 支部部局連絡会議：年 3 回開催
  - 第 1 回 6 月 7 日、第 2 回 11 月 8 日、第 3 回 1 月 10 日
- ・ 定例理事会：年 3 回
  - 第 1 回 6 月 7 日、第 2 回 11 月 8 日、第 3 回 3 月 14 日
- ・ 臨時理事会：年 4 回

第1回 4月26日, 第2回 8月30日, 第3回 10月12日, 第4回 1月10日

- ・ 常任理事会：年3回開催

第1回 7月12日, 第2回 12月13日, 第3回 2月17日

- ・ 三役会：年7回開催

第1回 4月22日, 第2回 6月5日, 第3回 8月27日, 第4回 10月10日, 第5回 11月7日, 第6回 1月8日, 第7回 3月14日

2. 会員基本データの保守・管理

3. 定期刊行物の発送及び保管及び会費未納者へのニュース等の配布の停止

- 士会ニュース（隔月発行）の発送：年6回（5月, 7月, 9月, 11月, 1月, 3月）

4. 公文書接受・発行：渉外関係, 道士会部局員等委嘱状

5. 会計事務所との打合せ

6. 慶弔：祝電 19件 養成校入学式 10件, 養成校卒業式 9件  
弔電 4件(会員, 関係団体)

#### [財務部]

1. 平成26年度予算執行の管理

2. 平成26年度中間決算

3. 平成26年度収支決算書の作成

4. 平成27年度予算案の作成

#### 【調査部】

1. 部局会議の開催

- ・ 平成24年5月21日、その他は全てメール配信で実施

2. ホームページ等のメンテナンス

- ・ Yahoo!クラウドサービス終了に伴う代替サービス（ファイルサーバ検討→導入しない方向で決定
- ・ google グループメンバーリングリストのサービス終了に伴う代替サービス検討→継続検討
- ・ ホームページの詳細なアクセス解析→導入済
- ・ その他、トラブル発生時に業者と調整

#### 【渉外部】

1. 行政, 他団体関連事業等への協力・提言

2. 儀礼, 新年交礼会出席

3. 日本作業療法士協会, 都道府県作業療法士連絡協議会との連携

4. 他団体等への委員, 講師派遣, 後援協力

5. 北海道内の養成校において卒業生を対象とした日本作業療法士協会および北海道作業療法士会に関する説明会の実施

6. 平成26年新年交礼会の企画および運営：平成26年1月10日（金）開催

7. 三士会での連携により活動

## 【学術部】

### [編集委員会]

1. 平成 25 年度 機関誌[北海道作業療法]の編集・発行関連
  - ・北海道作業療法第 30 巻第 1 号～第 4 号発行
2. 投稿論文促進に向けた取組み
3. 査読体制の見直し（第三査読者の設定）

### [第一学術課]

1. 公益社団法人の未来を創る学術と教育の連携（重点課題研修）の企画・運営
  - ・認知症の地域支援 平成 26 年 11 月 29 日（土曜日）
  - ・精神科退院支援 平成 27 年 2 月 1 日（土曜日）
  - ・高次脳機能障害 平成 27 年 2 月 21 日（土曜日）

### [第二学術課]

1. 学術研究助成金関連
  - ・平成 26 年度学術研究助成金の助成
  - ・平成 27 年度学術研究助成金の募集・選考審査
2. 学会開催時の研究相談窓口の設置と対応

## 【教育部】

1. 支部企画講習会の開催 15 回
  - ・札幌 5、各支部 1
2. 現職者共通研修 6 回
  - ・札幌 2、道央、道南、道北、道東、各 1
3. 現職者選択研修の開催
  - ・札幌 3 回（発達除く）
4. PT/OT/ST 合同研修会
  - ・札幌 1 回
5. 重点課題研修の運営
  - ・札幌 3 回
6. 支部主催現職者共通研修会および講習会開催の援助
7. 生涯教育制度の管理運営
  - ・現職者共通研修「事例報告」の SIG 認定ポイントの運営
  - ・SIG の協会登録
8. 会議
  - ・教育部三役会議 1 回
  - ・支部教育部長との教育部全体会議 3 回

## 【福利部】

1. 新会員歓迎会の開催
  - ・平成 26 年 4 月 26 日 北海道大学クラーク会館にて実施  
新人 117 名、先輩 30 名、計 147 名参加
2. 団体保険管理・運営・各種必要保険の調査
  - ・団体保険において年間対象者 1300 名にて契約更新
3. 学会での託児運営の実施
  - ・平成 26 年度第 45 回北海道作業療法学会において、託児コーナーの運営を実施。3 名のお子様が託児を利用。
4. 福利部からのホームページ作成・更新
  - ・福利部からの案内を更新
5. 福利部からの福利相談窓口設置・稼働
  - ・検討継続 相談件数 0 件
6. 人材バンクの設置準備
  - ・検討継続
7. 会員向けのイベント実施
  - ・5 月 17 日網走支部と協業し福利イベント実施、会員 33 名参加
  - ・12 月 6 日後志支部と協業し福利イベント実施。会員 22 名参加
8. 平成 27 年度新卒者への士会入会勧誘の実施
  - ・道内の 9 校の養成校の新卒者に対して案内配布

## 【広報部】

### [広報部広報課]

1. 道士会ニュース（奇数月）年 6 回の編集発行（4 頁カラー 3 回、8 頁カラー 3 回）
2. 道士会ニュースのホームページ用 web データの提供（9 月号から求人広告を含む）
3. 道士会事業活動データの保存および支部活動等への資料提供
4. 支部広報部との全体会議（平成 26 年 11 月 8 日）
5. 求人広告手続きの整備（継続中）
6. ニュース編集要点の作成、広報課マニュアルの更新（継続中）

### [広報部企画課]

1. 現行リーフレット一部更新・補充した。
2. ノベルティ作成
3. イベント備品(幟、法被他)の刷新・補充
4. ミニさっぽろ参画し、事業を事業部に移行
5. 「uturu」作成(年間 2 回)
6. 道庁パネル展用パネル、いきいき福祉・健康フェアの企画は既存の物を継続使用
7. 既存広報媒体の更新(継続中)

## 【事業部】

一般市民に向けた公益的活動，OT 志望者を増大するための啓発活動，作業療法士が直面する今日的課題の解決に役立つ取り組み，支部連携強化などを計画実行した。

### 1. 公益的活動

- ・ 道が主催する「次世代の担い手育成推進事業」において、「福祉教育アドバイザー」登録へ協力し、札幌市立白石小学校、札幌市立白楊小学校、豊浦町立豊浦小学校、恵庭市立島松小学校、札幌高等養護学校、池田高校の5校への講師派遣をコーディネート。
- ・ いきいき健康・福祉フェア(10/17～10/19)に参画し、「腰痛・膝痛・転倒予防 ～生活上のよい姿勢を教えます」と題した相談コーナーを実施
- ・ 北海道医療技術者団体連絡協議会主催のパネル展(6/30)に参加
- ・ 町内会などを対象に実施している出張講座の支部実施の推進

### 2. 啓発活動

- ・ 新会員に対し、各部と共同して新人会員ガイダンス(4/26)を実施。
- ・ 広報企画課と連動して、「Uturu」を道内高校に配布。
- ・ 「作業療法の日」啓発事業として地下歩行空間にて札幌支部と共同して実施(1/18)，函館支部(9/20)および道北支部(9/23)での開催を支援。
- ・ 札幌市 小学生職業体験イベント「ミニさっぽろ」(10/4・5)への参画および実施。

### 3. 今日的課題への取り組み

- ・ 生活行為向上マネジメント普及講習会の実施(北見会場：6/29 函館会場：8/3 釧路会場：9/7 札幌会場：10/5)。

### 4. 支部連携強化

- ・ 支部事業部長士会事業部との連携を推進するために、支部事業部長・士会事業部合同会議を開催(5/24)し、士会事業部の役割や仕事内容および各支部事業の事業を共有

## 【保険部】

### 1. 士会員への情報提供

- ・ 保険部内でメーリングリスト作成、各支部へHJ ネット情報の発信

### 2. 平成26年医療改定におけるアンケートの実施

- ・ 今後実施予定

### 3. 保険関連研修会の開催

- ・ これだけは知っておきたい！介護報酬改定平成27年：3月8日(日)札幌佐藤病院にて実施予定

## 【常設委員会】

### [総会議事運営委員会]

#### 1. 平成26年度定期総会開催(6/7 函館湯の川温泉 花びしホテル)

- ・ 委任状回収率65.3%(昨年度総会59%)

#### 2. 平成26年度定期総会開催準備及び運営

### [学会評議委員会]

1. 平成 26 年度 第 45 回学会の支援
2. 平成 27 年度 第 46 回学会の支援
3. 平成 28 年度 第 47 回学会の学会長候補の選出
4. 平成 29 年度 第 48 回学会の学会長候補の選出
5. 「学会運営手引き（マニュアル）」の継続的な見直し
6. 平成 26 年度 第 45 回札幌学会の参加者の動向調査（学会実行員会）
7. 北海道作業療法学会法人化についての検討
8. 演題抄録査読者の委嘱

[選挙管理委員会]

1. 平成 27 年度役員選挙の開催準備

[企画調整委員会]

1. 住宅改修WGの運営
  - ・ 現在、札幌病院にて住宅改修前後での写真を含めたデータを収集中。
  - ・ また、症例数も増えてきており、現在は手摺りに関する改修例をまとめている段階。
2. 特別支援教育WGの運営
3. 理事会等での議案に対し、その都度対応していく
  - ・ 今年度は、大きな事案がなくこれに対しては未実施。

【特設委員会】

[規約検討委員会]

1. 会員会費規定・賛助会員規定の修正
2. 現状の規約・規程の整理・集約

[白書委員会]

なし

[災害対策委員会]

1. 災害対策基金への積み立てを行った
2. 災害対策マニュアルについては未完成の状況
3. 災害リハビリテーション推進協議会への参加
  - ・ 会議 5 回、研修会 1 回開催

[地域作業療法推進委員会]

1. 地域包括ケアを見据えて地域貢献を果たしていくために、地区長・市町村担当者の配置整備を進め、市町村あいさつ訪問事業をすすめた。
2. 地区長・市町村担当者の養成のため、H26 年度は市町村担当者会議・OJT 講習会を 4 回(北見市、函館市、釧路市、札幌市)企画・実施し、合計 86 名が参加(出席率:地区長 86. %、市町村担当者 56%)した。実施にあたっては、OT 協会パイロット事業を活用した。
3. MTDLP の普及啓発のため、4 回講習会(北見市、函館市、釧路市、札幌市)を**実施**した。

## 【支部連絡協議会】

1. 支部連絡協議会の開催（6、11、1月）
2. 各支部の年度活動計画・報告、年度予算計上・決算報告及び活動状況の集約と調整
3. 理事会と支部間の連絡調整
4. 各部局・委員会と支部間の連絡調整
5. 地域長・地区長・市町村担当者の把握、理事会との連絡調整
6. 地域作業療法推進事業
  - ・ 地域長連携会議の開催、OJT講習会の開催、市町村訪問挨拶事業の集約
7. 生活行為向上マネジメント講習会 4地域で協力開催

### [札幌支部]

1. 会員情報の集約、支部財務管理
2. 支部内会議、ブロック連絡会の開催
3. 広報誌の発行
4. 道士会主催支部企画講習会、現職者共通研修会の運営16回
5. 健康祭り・医団協パネル展・OTの日啓発活動
6. 出張講座への講師派遣12回
7. 外部関係機関への会員派遣
8. 地域作業療法推進事業
  - ・ 地域包括支援センターへの挨拶や意見交換会、支部内での市町村担当者会議、市町村の実態把握

### [後志支部]

1. 会員情報の集約、支部財務管理
2. 支部報告会、支部内会議の開催
3. 広報誌の発行3回、新人歓迎会・懇親会の開催
4. 道士会主催支部企画講習会の企画運営2回、現職者共通研修会の運営2回
5. 健康祭り、地域イベント活動への参加
6. 後志地域リハビリテーション推進会議、外部関係機関への派遣

### [石狩支部]

1. 会員情報の集約、支部財務管理
2. 支部内会議の開催
3. 広報誌の発行3回、支部懇親会の開催2回
4. 道士会主催支部企画講習会の企画運営1回、現職者共通研修の運営1回
5. 千歳健康祭り・北広島健康祭りへの参加、市民向け講座、地域包括支援センタースタッフとの意見交換会の開催
6. 石狩地域リハビリテーション推進会議への派遣

### [空知支部]

1. 会員情報の集約、支部財務管理

2. 支部総会、支部内会議の開催
3. 広報誌「向日葵」の発行2回、役員用掲示板の管理、支部交流会の開催
4. 道士会主催支部企画講習会の企画運営2回、現職者共通研修の運営2回
5. 北・中・南地域リハビリテーション推進会議への参加・派遣

[日胆支部]

(1) 苫小牧地区

1. 会員情報の集約、支部財務管理
2. 支部総会、地区報告会、支部内会議の開催
3. 広報誌の発行、新人歓迎会・懇親会の開催
4. 道士会主催支部企画講習会の企画運営1回、現職者共通研修会の運営2回
5. ひだか健康まつりへの参加
6. 会員へのアンケートの実施

(2) 室蘭地区

1. 会員情報の集約、支部財務管理
2. 支部総会、地区報告会、支部内会議の開催
3. 広報誌の発行、新人歓迎会・懇親会の開催
4. 道士会主催支部企画講習会の企画運営1回、現職者共通研修会の運営2回
5. 西胆振地域リハビリテーション推進会議、外部関係機関への派遣

[道南支部]

1. 会員情報の集約、支部財務管理
2. 支部内会議、第3回全道研修会運営員会の開催、事業説明会
3. 広報誌の発行3回、新人歓迎会・懇親会の開催
4. 道士会主催支部企画講習会の企画運営1回、現職者共通研修会の運営2回、第3回全道研修会の開催
5. OTの日啓発事業の企画運営
6. 各病院・施設における地域支援事業の把握、会員間における医療・介護・保健・福祉ネットワークづくり
7. 南渡島地域リハビリテーション推進会議、外部関係機関への派遣、各団体後援協力
8. 地域作業療法推進事業
  - ・ 地域包括支援センターへの挨拶や意見交換会、支部内での市町村担当者会議、市町村の実態把握

[十勝支部]

1. 会員情報の集約、支部財務管理
2. 支部内会議の開催
3. 広報誌の発行、新人歓迎会の開催
4. 道士会主催支部企画講習会の企画運営、現職者共通研修の運営
5. 福祉フェスティバルへの参加、講師派遣事業の実施
6. 地域リハビリテーション推進会議、外部関係機関への派遣



[根釧支部]

1. 会員情報の集約、支部財務管理
2. 支部総会、支部内会議の開催、第4回全道研修会運営委員会の開催
3. 広報誌の発行、新人歓迎会・交流会の開催
4. 道士会主催支部企画講習会の企画運営1回、現職者共通研修会の運営協力
5. 市民向け自助具講習会の開催（釧路高専と共催）
6. くしろ健康まつり、厚岸町障がい者（児）ふれあいフェスティバル、他地域イベント活動への参加
7. 地域リハビリテーション推進会議、外部関係機関への派遣
8. 地域作業療法推進事業
  - ・ 地域包括支援センターへの挨拶や意見交換会、支部内での市町村担当者会議、市町村の実態把握

[道北支部]

1. 会員情報の集約、支部財務管理
2. 支部報告会、支部内会議の開催
3. 広報誌の発行6回、新人歓迎会・懇親会の開催
4. 道士会主催支部企画講習会の企画運営、現職者共通研修会の運営
5. 旭川市健康まつりの企画運営、OTの日啓発活動の企画運営、他地域イベント活動への参加
6. 地域リハビリテーション推進会議、外部関係機関への派遣
7. 地域作業療法推進事業
  - ・ 地域包括支援センターへの挨拶や意見交換会、支部内での市町村担当者会議、市町村の実態把握

[網走支部]

1. 会員情報の集約、支部財務管理
2. 支部総会、支部内会議の開催
3. 広報誌の発行3回、新人歓迎会・懇親会の開催
4. 道士会主催支部企画講習会の企画運営1回、道北支部現職者共通研修会の手伝い
5. 啓発活動として地域経済情報誌への記事掲載
6. 支部事業部主催研修会の開催1回、健康まつりへの参加、高校への進学出前講座の開催（北見市内3校）
7. 地域リハビリテーション推進会議、外部関係機関への派遣